

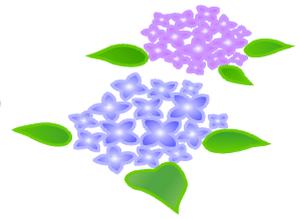


校長室通信

小国町立小国中学校

令和 3. 6. 25 (金) No10

文責 狭間卓史



「いよいよ」

明日、明後日と阿蘇郡市中体連夏季大会が阿蘇郡市内各会場で開催されます。今回参加する生徒は、柔道部、ソフトテニス部、バスケットボール部、バレーボール部、野球部、バドミントンクラブの加入生徒です。勝ち上がれば県大会や九州大会、全国大会につながりますが、負ければ中学校での活動に一区切りを付けることになる節目の大会です。各部活動（クラブ）とも、本校入学以降（場合によっては小学校時から）、精一杯取り組んできた種目です。今となっては、あっという間にこの日を迎えることになったという思いもあるはずですが、明日からの大会、どうか存分にその積み上げてきた力をを出し切ることに集中してくれることを願っています。



【 清々しい姿です 】

なお、新型コロナウイルスの感染リスクレベルが「5」のままだった場合、各学校からの応援者の人数も3名以内という制約があります。本日（25日）発表されるリスクレベルをふまえた対応については「安心・安全メール」でお伝えしますが、生徒の送迎も含めて、ご家族の皆様方のご理解とご協力をあらためてお願い致します。



「ぴしっ！ ～8年生学年通信のタイトルどおりの姿～」

今週の昼休みのことです。保健室前の廊下に生徒のスリッパがきれいに並んでいる光景が目にとまりました。

本校では日頃から昇降口の靴箱等でも靴がきちんと揃えられているのか気をつけていますし、各学年でそういう指導も重ねています。このことは、生徒が今後どこに進んだとしても生徒自身を助ける力になるとの思いからです。



【 ぴしっ！と並べられています 】

嬉しい生徒の姿だなと思いながら眺めていると、ちょうどそこを通りかかったのが若宮養護教諭。そのことを誉めると「これは8年生の生徒なんですよ」とのこと。そして「自分のスリッパはもちろん、他の生徒のスリッパもいつも率先して並べてくれているんです」との言葉。

清高綾華さんありがとう。本校が大切にしたい姿にまた一つ気づくことが出来ました。



「大人の階段」

今週、私が給食センターから校舎につながる通路を歩いている時のことです。目の前を小学校低学年の児童二人が歩いていました。その時、一段高い所にある（体育館から校舎につながる）通路を本校生徒も歩いており、ちょうど連絡橋に接続する階段を登る姿が見えていました。すると目の前を歩いていた小学生二人が、中学生の方を見ながら「大人の階段を登ってるね」とのやりとりの会話・・・。



【 大人の階段です 】

その表現に思わずクスッと笑ってしまいましたが、確かに中学生の年代は子どもから大人に一気に近づく時期。今後もその成長の階段を丁寧に歩んでくれることを願っていますし、その姿を後輩の子たちが見つめていることも忘れないでいてほしいと思っています。